

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名: こども発達支援リフト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分な広さ(120㎡)に加え、活動内容や目的別で部屋を分けて支援しています。	現状で対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		法令に基づき、適切に配置している。(毎日、4~5人のスタッフを配置しています)	継続していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・支援に使う道具はその都度出す。掲示物は最低限に留める。壁の配色も落ち着いた色にするなど可能な限り刺激を排除しています。	より理解を深めるために視覚的な支援の強化が必要だと考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日、清掃・消毒は実施してより良い空間を保つように努めています。 ・子どもに合わせた空間となるように目的などに応じて部屋を分けて実施しています。	より良い環境に出来るように設備の導入を検討しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日、朝一と昼食後にミーティングを行い、共通認識を持つようになっています。	継続していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からいただいたご意見に対しては全体で十分に検討し、日々改善に繋げています。	継続していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	今年が初年度になります。	継続していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は第三者による外部評価は受けていません。	必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・共通認識を基に支援にあたるために事業所内研修だけでなく、外部研修(オンライン中心)に参加しています。	継続していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		客観的な視点、事業所の意向を伝え、保護者のニーズと照らし合わせて計画書を作成しています。	関係機関との連携を密にすることで、より良い計画書作成に繋げていきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		NGプログラムや応用行動分析などのツールを用いて評価・プログラム作成・支援を行っています。	継続していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもや保護者のニーズを基に、問題解決を焦点化し、具体的なプログラムを立案しています。	継続していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		ミーティングで課題、支援方法の共有を行い、支援に反映させています。	継続していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		目的を共有した上で、プログラム立案を全体で行っています。	継続していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定着を目的として同じ活動を繰り返し行うことはある。また、目的に応じて遊びの種類を毎回変えています。	継続していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		課題に応じて個別と集団を織り交ぜて支援しています。	継続していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援の前には必ずミーティングを行い、目的、配慮事項、役割の共有を図っています。	継続していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後には必ずミーティングを行い、振り返りと次の支援内容の再検討等を行っています。	継続していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		リタリコのツールを用いて日々の記録に努めています。	継続していきます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回以上のモニタリングを行い、ご家族に対面で報告しています。	継続していきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が参加しています。	児発管だけでなく、他職員も参加する機会を設けることで、より良い会議に繋がりたいと考えています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		定期的開催されている地域の協議会への参加等を行っています。	継続していきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	該当なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	該当なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	今年度は対象児がいなかったです。	必要に応じて実施します。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学支援シートや情報提供書を作成し、ご家族や関係機関に渡したり、また連携会議等に参加したりしている。	継続していきます。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		お子さんによって、病院や他事業所、児童発達支援センター等と情報のやり取りを行う等連携している。	継続していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	屋外活動時に会うことはありますが、交流するまでには至っていません。	園、事業所にそれぞれの事情があるので、計画的に実施する必要があると考えています。地域の園との交流は実現したいと考えています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		管理者が積極的に参加している。	継続していきます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳アプリ、電話にて共有を図り、努めています。	継続していきます。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	行動心理に基づく対応方法等の支援は個別に行っています。	様々な職種の職員から多角的に助言できるようにしていきたいと考えています。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明しています。	改訂などがあつた際はは文章を配布していく予定。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			継続していきます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期ではモニタリング報告時に聞き取りを行っている。悩み事や不安がある場合に、いつでも相談に応じることも伝えている。	継続していきます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		来年度は実施予定です。どのような形が喜ばれるか検討中です。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談があつた場合は、ミーティング等で取り上げ、できるだけ早く回答できるよう心掛けている。	職員が相談を受けたら、すぐ管理者に報告し、迅速に対応する。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		連絡帳アプリを用いて個別に発信させてもらった。	継続していきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			継続していきます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭だけでなく、絵カードや文章、写真等も活用している。保護者に対しても、電話やアプリ、紙面などやり取りのしやすい媒体を活用し、伝達を行っています。	継続していきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		来年度は事業所の行事を企画して地域の方々に興味を持ってもらえる運営を心掛けたいと思います。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアル等、整備しています。 訓練については、年2回実施しています。	来年度は、保護者の方にも協力頂き、非常時を想定した訓練と、連絡体制・連絡網の確認を行いたいと考えています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回実施していますが、全ての時間帯で行うわけではないため、参加できない児童もいました。	様々な時間帯で実施し、どの児童も一度は参加できるように調整していきたいと考えています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に確認している。また、服薬が必要な児童については、情報を聞き取り、個人ファイルにて管理しています。	継続していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・契約時に確認しています。 ・食物の提供を行っていない。	継続していきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案発生時にはミーティング内で振り返りと改善点を話し合い、再発防止に努めています。	継続していきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所研修を実施しています。	継続していきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を実施せざるを得ない状況にはないが、指針を作成して職員に共有しています。	継続していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)